

特定行政庁より報告を受けた建築物事故の概要

(平成22年12月1日～令和3年9月30日)

※前回部会までに調査終了とされたものを除く

※事故の事例は人身被害の程度（死亡、重傷、中等傷、軽傷、人身被害なし）の順に記載
 （被害の程度が同程度の事故については日付の順に記載）

事故内容	H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31/R1年度		R2年度		R3年度	
	事故 件数	被害者数 (うち死亡)																						
部材の落下	5	3(0)	16	9(0)	13	8(0)	5	3(0)	7	2(0)	6	2(0)	12	10(0)	14	10(0)	17	4(1)	18	10(1)	6	1(0)	3	4(0)
壁タイル等	3	1(0)	7	3(0)	6	1(0)	2	3(0)	6	1(0)	3	1(0)	6	9(0)	5	1(0)	8	1(1)	12	7(0)	3	0(0)	0	0(0)
天井等	1	1(0)	5	5(0)	4	4(0)	3	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	4	0(0)	2	7(0)	5	2(0)	3	1(0)	1	1(0)	2	2(0)
看板	1	1(0)	1	1(0)	1	2(0)	0	0(0)	1	1(0)	1	1(0)	1	1(0)	6	2(0)	1	1(0)	1	0(0)	1	0(0)	0	0(0)
テラス等	0	0(0)	3	0(0)	2	1(0)	0	0(0)	0	0(0)	2	0(0)	1	0(0)	1	0(0)	3	0(0)	2	2(1)	1	0(0)	1	2(0)
転落	3	3(1)	4	4(3)	5	9(2)	1	1(0)	1	1(1)	3	6(1)	2	7(1)	2	2(1)	2	2(2)	0	0(0)	7	11(4)	2	2(1)
自動ドアへの衝突等	0	0(0)	1	1(0)	2	2(0)	1	1(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)
ガラスへの衝突等	0	0(0)	1	1(0)	1	1(1)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	1	1(1)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)
シャッターによる挟まれ	1	1(1)	2	2(2)	2	2(2)	0	0(0)	1	2(0)	1	1(0)	1	1(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)
自走式駐車場からの車両転落	0	0(0)	2	1(1)	2	4(0)	0	0(0)	1	2(0)	0	0(0)	2	6(3)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	1	0(0)	0	0(0)
建築物の倒壊等	0	0(0)	0	0(0)	1	1(0)	0	0(0)	1	0(0)	1	0(0)	2	0(0)	0	0(0)	3	3(1)	1	0(0)	1	1(0)	1	0(0)
工事現場	1	0(0)	10	9(1)	4	5(0)	3	1(0)	5	3(1)	2	2(1)	6	3(2)	0	0(0)	1	1(0)	4	5(1)	7	5(1)	0	0(0)
その他	0	0(0)	0	0(0)	1	0(0)	2	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	1	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	0	0(0)	1	1(1)
合計	10	7(2)	36	27(7)	31	32(5)	12	6(0)	16	10(2)	13	11(2)	26	28(7)	17	12(1)	23	10(4)	23	15(2)	22	18(5)	7	7(2)

注1) 「平成22年度」は、平成22年12月1日から平成23年3月31日までの件数等である。

注2) 「令和3年度」は、令和3年4月1日から令和3年9月30日までの件数等である。

1. 事故内容:部材の落下

(1) 前回数会までに報告した事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況
1	R01/09/09	東京都内	店舗等	3階建て店舗の北側外壁1面分のモルタルのほとんどが崩落し、隣接住宅の窓が破損した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○外壁モルタルの支持部材の腐食及び台風の影響で落下したものと考えられる。	(調査終了) ○落下のおそれのある外壁モルタルを撤去。 ○北側外壁に飛散防止のメッシュシートを設置。 ○北側以外の外壁に対する保安上必要な措置を命令(建築基準法第10条第3項)。 ○所有者にて当該建築物を解体予定。	対象【3年】	H26/08/20 (指摘なし) ※H29は未提出
2	R01/10/28	沖縄県内	共同住宅等	地上4階建の共同住宅において、3階外部廊下のRC製の床及び手すりの一部が崩落した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○築後約45年であり、建物の老朽化によるものと考えられる。	(調査終了) ○使用禁止を命令(建築基準法第10条第3項)し、居住者が全員退去。 ○飛散防止用ネットを設置済み。 ○所有者に対し、当該建築物の補強又は除却が完了するまで継続的に指導を実施。	対象外	—
3	R02/06/30	山口県内	店舗等	店舗の2階のはね出し部分が崩落し、隣地の駐車場に落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○築後約70年であり、建物の老朽化によるものと考えられる。	(調査終了) ○落下の恐れのある部材を撤去済み。	対象外	—
4	R02/09/22 R03/04/15	北海道内	駐車場等	駐車場2階外壁の装飾用御影石パネル6枚が敷地内及び歩道に落下した(R02/09/22)。 駐車場2階外壁の最下部の装飾用御影石パネル1枚の一部(下部先端)が敷地内に落下した(R03/04/15)。	なし	[R02/09/22の落下] ○特定行政庁において調査を実施済み。 ○施工図と異なる固定となっているパネルが12箇所確認された。 ○落下した石材についても施工図どおりに施工されていなかったものと推定される。 [R03/04/15の落下] ○特定行政庁において調査を実施済み。 ○R02/09/22の落下後、パネルを取り外して点検を実施。パネルを再度取り付けの際に、パネル下部に力が掛かりひび割れを起こしたことによるものと推定される。	(調査終了) [R02/09/22の落下後] ○同様の施工状態となっていた箇所の修繕工事を実施。 ○落下した箇所と異なる外壁部で、工事が同時期であり、職人が同一の可能性のある部分の点検を実施(不具合無の結果)。 [R03/04/15の落下後] ○現在の納まりでは、力を掛けずにパネルを取り付ける方法がないため、落下した箇所と同種の外壁部の装飾用御影石を撤去。	対象【1年】	R2/9/2 (指摘なし)

(2) 今回新たに報告する事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況
5	R03/05/30	神奈川県内	体育施設	スポーツクラブ内の屋内プールで、空調ダクトが落下して、従業員が頭部及び下腿を打撲した。	中等傷1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○ダクトを天井から吊る金属製のバンド(ダクトバンド)が、腐食により破断したものと考えられる。	(調査終了) ○プール内のダクトを全撤去済み。 ○市内の他のプールに同様のダクト(天井から吊り、ダクトバンドで留める構造)がないことを確認。	対象外	—
6	R03/07/05	大阪府内	学校	中学校のプール更衣室天井からコンクリート片が落下し、生徒1名の側頭部に接触した。	軽傷1名	○特定行政庁において調査を実施済み。 ○築後45年であり、天井コンクリート面には、経年劣化によるひび割れや漏水痕が見られた。 ○経年により、コンクリートが中性化し、鉄筋の錆び及び膨張により、コンクリートを剥離・落下させたものと考えられる。	(調査終了) ○応急的に施設を使用停止。 ○その後、施設を解体済み。	対象【3年】	H30/9/7 (指摘なし)
7	R03/07/07	沖縄県内	店舗等	鉄筋コンクリート造の屋上庇が崩落し、その一部が駐車中の車に落下して車内にいた2名が負傷した。	軽傷2名	○特定行政庁において調査を実施済み。 ○築後約25年であり、経年劣化によりコンクリートに亀裂が発生して雨水等が浸透し、鉄筋が腐食膨張したと考えられる。	(調査終了) ○崩落部分及びその周辺の庇を撤去。 ○特定行政庁から所有者に、建物の定期的な調査・確認など建築物の適正な維持管理を確実にを行うよう指導済み。	対象【3年】	未提出 (H29、R2)

2. 事故内容: 転落

(1) 前回部会までに報告した事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況	
8	R03/04/17	東京都内	共同住宅等	木造共同住宅の鋼製階段(3段分)が崩落し、2階付近にいた賃借人が、直下へ落下した。	死亡1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○鋼製の階段部分を、木製の2階廊下と踊り場部分で支える構造となっていた。 ○全住戸から住民が退去。	調査中	(本日別途審議)	対象外	—

(2) 今回新たに報告する事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況	
9	R03/08/08	群馬県内	ホテル等	ホテル7階居室の縦滑り出し窓から6歳の子供が転落した。	重傷1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○窓の床面からの高さは68cmであり、ベッドが窓と隣接していた。	(調査終了)	○転落危険性について周知する張り紙を同様の窓を持つ各部屋に貼付。 ○窓の改修を検討中。	対象【2年】	H30/11/16 (指摘なし) ※R2は未提出

3. 事故内容: 建築物の倒壊等

(1) 前回部会までに報告した事故(なし)

(2) 今回新たに報告する事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況	
10	R03/06/25	大阪府内	その他	空石積み擁壁が崩壊し、2棟の住宅が崖下に落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施済み。 ○擁壁が古いと見られ(航空写真により、昭和17年より前からあると推定)、原因を特定するための情報が不足。	(調査終了)	○落下の危険のある家屋を撤去。 ○擁壁のさらなる崩壊を防ぐため、崩壊箇所に法面養生シートを設置。	対象外	—

4. 事故内容: その他

(1) 前回部会までに報告した事故(なし)

(2) 今回新たに報告する事故

No.	発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	人身被害の程度	これまでの対応	再発防止策等	定期調査対象か【】内は報告間隔	定期調査の状況	
11	R03/05/27	沖縄県内	倉庫等	倉庫入口の扉(高さ5m、重量1t)を閉める際、内側に扉が倒れ、作業員が下敷きとなった。	死亡1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○倒れた扉を撤去し、転倒対策を施した仮設扉を設置。	調査中	—	対象外	—